令和5年度 海洋教育における学校評価の検証

※表・グラフの上段は「前期」、下段は「後期」です。 ※【考察】の○は「成果」、△は「課題」、☆は「改善策」です。 A:当てはまる B:概ね当てはまる C:概ね当てはまらない D:当てはまらない E:分からない

No		評価	項 目(生徒・	· 保護者)		Α	В	С	D E		
2	豊かな人間性 日頃の授業や豊かな体験活動等を通して、互いに認め合いながら、協働し、自分自身を成長(進化)させている。						生徒	28% 24%	69% 61%	3% 6%	99
	【考察】〇全体的に肯定	保護者	12% 13%	65% 67%	12%	129					
	△否定的な回答 ☆当該生徒へ通	職員									
•	0%	10% 20%	30%	40%	50%	60%	70%		80%	90%	100%
:	生徒	28%									3%
		24%			61	%:::::::::::::::::::::::::::::::::::::				6%	9%
保	護者 12%			65%		<u> </u> ::::::::::::::::::::::::::::::::::::			12%	0%	12%
	13%			67	7%					13% 0%	8%

No				Α	В	С	D	E							
7		※ 投業等では「個別の学び」や「協働的な学び」の場があり、自分で考						生徒	44%	50%	6%				
	発達	·//\ —								21%	67%	6%		6%	
									保護者	4%	35%	12%	4%	46%	
		「察】○生徒・職員に関しては、全体的に肯定的な回答のため、概ね達成している。 △保護者の否定的な回答が一定数いる。 →保護者とは往側々の党習が研究が確実に伝わるエキが必要である。									4%	38%	8%	13%	38%
										職員	44%	56%			
	×	☆保護者へ生徒個々の学習評価等が確実に伝わる工夫が必要である。								60%	20%	20%			
	0%	10	0%	20%	30%	40%	5	0%	60%	70%		80%	90%	, ,	100%
	生徒	44%						50%	-:-:-:-:-:-:		:-:-:-:-:-	69	6 0 %		
		2	1%	[4:4:4:4:				67%					69	% 0 <mark>%</mark> \69	6
保	護者 49	%		35%			12%	4%			46%				
	4			38%			8%	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	%			38%			
	職員			44%						5	6%: :::				∵0%
									20%					0%	
											1				



